

# 令和5年度 授業改善推進プラン（6年生）

令和5年8月31日

昭島市立中神小学校

教科	観点	現状と課題	具体的な授業改善策
国語	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の定着や言葉の学習、文章を書く力など二極化している。</li> <li>漢字については、定着している児童と定着していない児童に差がある。覚えている漢字は文章中で使うことができる児童が多い。</li> <li>主語と述語に、修飾語などの文を構成する言葉の理解はできている児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識・技能に支援が必要な児童には個別にプリントを作成して宿題に出したり、保護者と連携して土曜補習に出席してもらったりしていく。</li> <li>学び方の指導や小テストでの間違いを確実に覚えるよう反復練習をさせていく。</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>組み立てを考えて文章構成ができる児童が多い（知識・技能）が、自分の考えをもつことが苦手なため、表現することや説明したりすることに課題がある。</li> <li>書くことに抵抗があるが、書き始めると長い文章を書くことができる。</li> <li>読むことについては、問題文などで大事なことを落としてしまうことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えをもてたことを認め、そこから深い考えに練り上げていけるよう交流の機会を多く設け、相手と比較を通じて自分の考えを明確にできるように指導する。</li> <li>考えを持ちやすくするような話型や文章の書き出しを例示する。</li> <li>下線を引いたり、印を付けたりしながら読むよう指導する。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組もうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書好きな児童と嫌いな児童との差が激しい。</li> <li>長文に対しての抵抗感が大きく、粘り強く考えることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語の読書単元や校内の読書週間、すきま時間を利用し、どの児童にも読書の機会を作っていく。</li> <li>様々なジャンルの本に触れて読書の楽しさを味わえるよう児童同士が読んだ本を紹介する機会を設ける。</li> <li>長文であっても、着目する点を押さえることで読み取りやすくなることを指導していく。</li> </ul>

社会	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来事や歴史人物などに関心はあるものの、出来事の名称や人物の名前を覚えることが課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元末にくじラーニングやカフトなどで暗記する時間を設けるとともに、フラッシュカードなどで習熟を図る。</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を見て事実を押さえることや、複数の資料を比較して見出すことはできるようになってきたが、資料から推論する力も身に付けていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の基本的な読み取り方を段階に分けて示すことで読み取りを深められるようにしていく。(見て気が付くこと・比較して・大きな変化・考えられることなど)</li> <li>社会的な事象についての見方・考え方を働かせ、考える際の視点を増やすようにする。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組もうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>関心が高く、意欲的であるが、意欲に差が出てしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な生活と関連があることに気が付けさせながら課題意識がもてるよう、導入やまとめでは児童の関わりを取り上げながら授業展開していく。</li> </ul>

算 数	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項の積み上げ、計算の技能（速さ・正確さ）や活用などの力が二極化している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別授業を活用し、3分チャレンジで同様のものを行うのではなく、実態に合った内容を行っていく。（低のクラスには本時で扱う内容の全学年までの既習事項を確認するようなものにするなど。）</li> <li>宿題等で、既習事項を復習するプリント等に取り組みさせる。</li> <li>計算の処理能力を高めるために、様々な百マス計算をデジタルで行い、繰り返し練習できるようにする。</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の面積の公式が身に付いていない児童がいる。</li> <li>分数のかけ算やわり算では、約分してから計算をすることができなかつたり、答えを見直して約分することができなかつたりする。また、約分の際に公約数の判別が苦手な児童が多い。</li> <li>「単位量あたりの大きさ」では四捨五入してがい数で求めるが、がい数の表し方が定着していない。</li> <li>一あたりの求め方は理解しているが、問題の数字が分数や小数などに変わったり、単位が変わったりすると量感を捉えられず立式ができない児童が多い。（割合、人口密度、時速を求める問題なども同様）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>約分の練習をくじラーニングで行ったり、約分の習慣が付くよう分数の問題を扱う際には繰り返し声掛けを行ったりしていく。</li> <li>用語の意味や表し方を確認できるようにする。（巻末、掲示等の活用）</li> <li>文章から「もとにする量、比べられる量、割合」を、ラインをひいたり色をかえたりして意識させる。</li> <li>生活場面でも「もとにする量」がイメージできるように働きかける。</li> <li>文章問題の内容を理解しやすくするために数直線や線分図を書かせる等の工夫を行う。</li> <li>数直線を自ら書いて活用できるように書き方を順序立てて指導する。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組もうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章題に抵抗感が強く、最初から諦めてしまう場面が多く見られ、自力解決に向けた意欲が低い児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自力解決に必要な情報を整理し、その情報を元に筋道立てて板書しておくなど、全体で見通しをもつ活動を設定し、意欲を喚起する。</li> </ul>

理科	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組もうとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習用語の習得が苦手である。特に、「体のつくりとはたらき」の臓器の名前と役割を結び付けることに課題がある。</li> <li>・課題を確かめるために条件を整えながら実験方法を考えることが難しい。</li> <li>・実験や観察に対して意欲は高い、実験の結果から考察を導き出すことにも慣れてきているが、考察を一般化できずに、類似の実験で応用することに課題がある。</li> <li>・実験や観察に対しての意欲が高い。振り返りを生かして、次の学習のめあてをもつことや自ら学習計画を立てることに課題のある児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名称の記憶だけにとどまらず、働き等のイメージも含めて理解させる。また、用語の暗記にとどまらず、意味や役割とも結び付けられるような発問をしていく。</li> <li>・5年生で行ってきた条件制御の視点についても触れながら授業展開をしていく。「石灰水の色が濁ったら…」などの条件をまとめ、必要な時に活用するなど、実験の見通しをもてるようにしていく。</li> <li>・実験から考察を書かせる指導を積み重ねさせる。児童のノートに考察として書かれたものを予め把握し、意図的に児童の声からまとめを行い、一般化する。考察からのまとめ（一般化）につながるような思考の流れを全体指導で展開することで個人でもできるようにしていく。</li> <li>・日頃から日常生活と科学との結び付きについて指導を継続し、振り返りでは、自分たちの疑問や考えが広がるよう指導を積み重ねていく。</li> </ul>
----	-------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

音楽	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で合唱の経験が不足しており、ハーモニーを感じながら歌うことができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の最初に常時活動として、ハーモニーを取り入れた発声練習を取り入れる。声部が分かれる部分のみ取り出したり、録音して聴いて確認したりしながら、きれいなハーモニーを目指せるようにする。</li> </ul>
	思考・判断・表現  主体的に学習に取り組もうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拍の流れによって歌ったり、演奏したりすることが出来ず、周りの音を聴いてみんなに合わせて演奏することができない児童が数名いる。</li> <li>・歌唱・器楽について意欲的に取り組むが、歌声が小さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拍の流れに乗って指揮をしたり、体を動かしたりしながら拍感をつけられるようにする。静かな状態をつくり、常に周りの音を聴くことに集中できるような環境を整えながら音楽を楽しめる経験を増やしていく。</li> <li>・毎時間の最初に常時活動として発声練習を強化していく。選曲を工夫しながら合唱の機会を増やしていく。</li> </ul>
図画工作	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に取り組むが、失敗を恐れながら制作する面もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に練習を十分にさせる。段階的に達成感を味わうことが出来るようにする。</li> </ul>
	思考・判断・表現  主体的に学習に取り組もうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師へ「これでいいのか」とよく確認することがあり、表現に正解を求めている。</li> <li>・平面作品、立体作品のどちらにも意欲的に取り組み、造形的な関心が高い。一方で教師の話最後まで聞けず、作業や片付けのメリハリがないことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発想やアイデアを積極的に褒め、自分の表現に自信をつけさせる。</li> <li>・導入を工夫し、児童の驚きや感動を誘い出すようにする。授業規律を見直し落ち着いて学習できる環境を整える。</li> </ul>

家庭	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活経験や知識・技能に個人差が見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実技授業の際には苦手な児童は教師の近くにしたり、得意な児童の隣にしたりと座席を工夫する。</li> <li>知識的な授業の際には、指導内容における生活経験を話し合い、日常生活での場面想定を十分に行って指導に当たるようにする。</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境や自分の健康的な生活について、よく考えられるが実践する機会が少ない。</li> <li>調理の手順や工夫について「なぜそうするのか」を考えられる人が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年だより等で学習内容やねらいに対する保護者の理解を得ながら、家庭で実践する機会を設けるようにする。</li> <li>生活にどう生かすかという視点で、活動や授業の振り返りを行う機会を設ける。</li> <li>調理実習につながる事前の指導で作業の意味についても考える機会を設けるとともに、実習当日の板書にも示し、活動が深めるようにする。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組もうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習への関心は高いが、家庭でも実践しようとする人は少数で、学校の授業で学びが完結してしまう人が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲を維持できるよう、家庭へ声掛けるとともに、長期休みの課題として取り入れる。</li> </ul>
体育	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団としての意識や安全面での配慮が不十分な児童がいる。</li> <li>運動の内容によって技能に偏りが見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>何のために体育を行うかの意識を高め、集団の良さや、運動の楽しさを味わわせる。</li> <li>場の設定を工夫すると共に、運動量を十分確保する。</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>どうやって自分の技の完成度を高めるか、意識するところはどこなのかを考えずに、活動する姿が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の課題の解決の方法や友達の良いところを伝える時間を確保し、運動の中でも学び合える環境を作る。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組もうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に取り組む児童が多いが、活動の領域によって、意欲の差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カードなどを活用し、自分の課題と向き合うことを意識させ、各自のめあて毎に達成感を味わわせられるよう声掛けを行う。</li> </ul>

外国語	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>罫線を用いて、アルファベットの大文字・小文字を分けて書くことに課題がある。単語と単語の間にスペースを空けるなどのきまりを身につけさせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベットを書く際は、罫線があるノート、ワークシートを活用し、日頃から意識して取り組ませる。</li> </ul>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>すすんで表現しようとしている。会話から聞こえた単語や状況から会話内容を予想して問題を解くことができる。長い文章は情報量が多いため、聞き分けることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な会話表現を繰り返し発音したり、ペアトークの機会を設け表現をする機会を増やす。定型表現など、外国語特有の言い回しなどを会話の中で活用できるように取り入れる。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組もうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>すすんで取り組む姿勢が見られる。相手に伝える意識、相手の言葉を聞く意識をより高めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペア学習やグループ学習を通してコミュニケーションを取り合う機会を継続的に取り入れる。</li> </ul>